

運動会に引き続きましての参観、ありがとうございました。子どもたちも、うれしハリキリの姿を見せられたのではないのでしょうか。それとともに、保護者会直後のこの原稿は皆様にお話したあとなので、何書いていいのか結構悶絶しております。

という訳で、これからくる「こどもかい」について少しおさらいしておきましょう。詳しくは以前からあるこどもかいに向けて特別号に載っているとおりなのですが、昨今そのこどもかいが少しばかり形骸化しているように感じています。メリットとしては文化として引き継がれていくことは大変良いことなのですが、デメリットとしては毎年形として決まっているとおりに進んでいってしまうようなことになると、特別号で言うお遊戯会や発表会と何ら変わらなくなってしまうのではないかと危惧しています。

その当日のために最初から何回も同じことを練習して立派!?な姿を見てもらう・・・のが目的ではありません。こどもかいは子どもたちの表現活動であり、自己発揮の場であり、協同・協調性を培う場であり、個人や各クラスがそんな風になってきたんだよ、そんなみんなの姿をお父さんお母さんいろんな人に見てもらえたら素敵なことだよ・・・だから「こどもかい」があるのです。最初から同じことを10数回繰り返すために長期の期間を設けているわけではありません。だんだんまとまってくる、だんだん自信がついてくる、だんだん披露したくなってくる。そんな取り組みの過程を大事にしていく期間すべてが「こどもかい」なのです。皆さんにもっとわかりやすく言えば、クラスでげき活動が終わった直後に、もう外行って遊んできていい?と言われるようなら、子どもたちがすすんで取り組んでいるとは言えないのではないだろうか、ということです。歌も然り、観るのも然り、聞くのも然り、子どもたちが自主を持って（表情でわかります）、先生と仲間とともにこの取り組み期間を過ごしてくれることを望んでいます。もっと高みへ。園としての戒め、でもありました。

今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）



- それぞれの思いを出し合いながら、友達と一緒にあそぶ
- ごっこ遊びを通して友達とイメージを共有したり、自分なりに表現を楽しんだりする
- 季節の変化に気づいたり、秋の自然物を使って遊ぶ楽しさを味わったりする



- 友達との遊びを楽しみながら、かかわりを広げていく
- クラス全体でまとまるとすると楽しい遊びや活動を経験し、実感する
- したいことが実現できるように材料や場を選んだり、使い方を工夫したりする



- 互いにアイデア・イメージを出し合ってクラスで共有していく
- 内容や取り組みなど、クラス集団で意見を出し合って共通理解する
- 全体を見渡して、必要に応じて援助し合うことができる